

「団地をリノベ賃貸 山口県山陽小野田市で」

ビレッジハウス

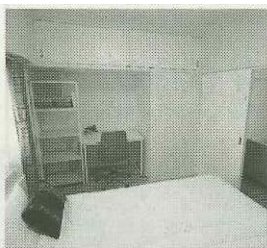
団地をリノベ賃貸

山口県山陽小野田市で

ビレッジハウス・マネジメント(東京都港区、岩元龍彦社長)は、山口県山陽小野田市の築50年の団地をリノベーションし「ビレッジハウス小野田第二」として再生し、

12月4日から新規入居の募集を開始した。同物件の周辺には、保育園、小中学校、大学、病院、スーパーや公園があり、暮らしやすい環境が整っている。3棟12

④「ビレッジハウス小野田第二」のワークスペースを設置
⑤と、カウンターキッチン



0戸あるが、最初は40戸をリノベーションする。家賃は1LDK(33平方メートル)を3万5000円から3万8000円の賃料で設定した。部屋にはワークスペースとカウンターキッチンを設け、無料でインターネットは利用できるよう工事し外壁も改装する。入居開始は来年3月18日から。竣工は23年2月を予定。同社は、高齢・障害・求職者雇用支援機構が売却した雇用促進住宅をフォートレス・インベストメント・グループが一括取得し「ビレッジハウス」へリブランドディングしたものを、リノベーションして賃貸住宅として提供している。既存の建物を有効活用し、長く使用することで低賃料を実現。低所得者層を含むさまざまな人へ積極的に供給。今後、多言語対応の強化や法人向けサービスの拡充にも積極的に取り組む。